



この夏の気候について感じたこと

校長 橋本 勇一

8月中旬に、高知県を訪れました。高知県は四国で太平洋側に面していて、西と東に細長く、極端な言い方をすれば、南を見ると海があり、北を見ると山があるという地形です。例年であれば昼間の気温は東京都とほぼ同じで暑いのですが、夕方になると涼しくなり、エアコンなしに快適に寝ることができました。ただ、今年の夏は違い、夜も暑かったです。東京と同じように夕方になっても気温が下がらなくなっていました。毎年顔を合わせる親戚は今まで夜はエアコンを使わなかったが今年はエアコンを使っているとぼやいていました。

世界に目を向けても、ヨーロッパでも異常気象が続き、暑さと共に自然発火による火災が起こり、ドナウ川の水位も下がってきています。中国でも洪水が発生している地域があるかと思えば、逆に長江の水位は下がっているとの報道がありました。今までの気候と違ってきている様です。

川といえば高知県には四万十川があります。ご存じの方も多いですが四万十川には48の沈下橋が設置されています。この橋は脚の上にコンクリートの板を載せただけのとてもシンプルな構造です。当然ガードレールや標識といったものもありません。実際に通ってみると道路に何もペイントがなく、橋の両側をガードするものが何もないので、緊張して通ったことがあります。このような構造になっている理由は、台風等による川の増水の際に橋が流されずにそのまま川の水をやり過ごせるようにするためです。いかにして台風の被害を最小限に抑えるか先人の知恵は素晴らしいと思いました。

さて、2学期がスタートしました。子供たちも元気な姿で登校しました。コロナウイルス感染症については収まるのはまだまだ先のようなです。学校行事等についても、いかに折り合いをつけながら活動をして行きたいと考えて行きます。

保護者会について

9月9日（金）の保護者会につきましては、コロナウイルス感染症対策のため、Teamsで行います。ご了承ください。

夏休み作品展について

9月5日（月）～8日（木）体育館、午前9時から午後4時まで。会話は控えて観覧していただけたらと思います。

展覧会について

12月2日（金）・3日（土）午前9時から午後4時まで。基本的には2日（金）は児童鑑賞日、3日（土）は保護者鑑賞日です。体育館を中心に玄関等も使いながら作品を展示する予定です。

9月 行事予定

日	曜	行 事 等	放課後遊び
1	木	始業式 4時間授業 12:30頃下校	
2	金	給食開始 4時間授業 13:20頃下校	
3	土	土曜授業日 日本文化の時間	
4	日		
5	月	安全指導日 委員会活動 夏休み作品展開始	
6	火	発育測定（1年）	4・6年生
7	水	4時間授業 13:20頃下校	
8	木	発育測定（2年） 夏休み作品展終了	3・5年生
9	金	保護者会（1～3年：14:00開始） Teams（4～6年：15:00開始）	
10	土		
11	日		
12	月	発育測定（3年）クラブ活動	
13	火		
14	水	発育測定（4年）	
15	木	避難訓練 発育測定（5年）	3・4年生
16	金	水泳学習終了 発育測定（6年）	
17	土		
18	日		
19	月	敬老の日	
20	火		5・6年生
21	水	4時間授業 13:20頃下校	
22	木	児童集会	
23	金	秋分の日	
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水	4時間授業 13:20頃下校	
29	木		
30	金		

お知らせ

避難訓練について

15日（木）に火災を想定した避難訓練を行います。火災が発生した際の行動の仕方をよく理解し、「お・か・し・も」を守って、訓練に取り組ませます。

人権の日について

今月の人権の日は、28日（水）です。28日（水）の給食は、韓国のビビンバとトッポギです。

放課後遊びについて

今年度初めての放課後遊びとなります。3年生から6年生を対象に、放課後15:40まで行います。日程は、9月行事予定の欄から学年を確認してください。9月は合計4回行います。

9月の校庭開放について

9月10日（土） 13:00～17:00

お知らせ

9月の生活目標

「落ち着いた学校生活を送ろう」

生活指導主幹 内藤 直美

長い夏休みを終え、2学期の学校生活が始まりました。改めて、「学校の約束」を振り返りましょう。登校時間は、8時10分から8時20分です。8時25分までには朝の仕度を済ませ、着席完了です。また、1時間目から6時間目まで、授業の開始時刻は決まっています。時間的なことだけでなく、学校にはたくさんの約束があります。

その約束が、時に窮屈に感じることもあるかもしれませんが、しかし、この「約束」は、500人にも迫る全校児童の安全と安心を守るためのものであり、落ち着いた学校生活を築く上での大きな基盤となります。

保護者の皆様のお力をいただきながら、児童がますます落ち着いて学校生活が送れますよう、指導を進めてまいります。

夏季学園を終えて

5年1組担任 内藤 直美

5年2組担任 満田 彩香

子供たちは、箱根で行われる夏季学園を本当に楽しみにしていました。コロナ禍において中学年時代に校外学習が実施できなかった今年の5年生。6月には遠足に行き、時間と約束を守ることをグループ行動の中で学びました。また、夏季学園の班決めの話し合いや各係の準備なども、一生懸命に取り組んできました。

8月4日、5日の本番の日。天候は心配でしたが、子供たちは大きい荷物を抱え、元気に学校に来ました。バスの中ではバスレク係が中心となってクイズ大会などで大盛り上がり。1日目。「森のふれあい館」では、木の実クラフト作りやクイズラリーを楽しみました。映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」を思い起こすほどの霧の中、出航するか心配だった海賊船も、いざ5年生が船に乗る直前に霧が晴れ、無事出航。宿泊する「箱根ニコニコ高原学園」に行程通り行くことができました。雨でキャンプファイヤーはできませんでしたが、学園の体育館で一人一人がキャンドルをもち願いを込めてキャンドルの炎を一息で消す、といった幻想的で特別な時間を味わいました。フォークダンスやゲームは、汗びっしょりになるほど大盛り上がり。夜はぐっすりと眠りにつきました。2日目。家族のためにお土産を買い、メインイベントの姫の沢公園アスレチックを楽しみました。

色々な活動が、天候の関係でギリギリまで「できるか」「できないか」と迷う場面が多かった中、5年生の「何があっても楽しむ力」「友達を大切に思う気持ち」が大きく花開いた2日間。この経験を生かし、2学期も5年生みんなで力を合わせ、楽しい学校生活を築いていきます。



夏休み作品展について

教務主幹 高木 順一

本校では、毎年、夏休み明けに「夏休み作品展」を行っています。かつては、児童数も今より少なく教室前の展示だけで事足りていましたが、近年は、児童数が増えたことで作品も多くなり、体育館を使って展示しています。夏休み作品展期間中は、体育館がミニ展覧会のような雰囲気になります。

毎年、どの学年の児童も工夫を凝らした作品を完成させてきます。工作、調理の様子をまとめたもの、旅行記、自分でテーマを決めて調べてまとめたものなど、様々な作品が展示されます。

夏休み作品展をクラスで見に行くと、それぞれ興味のある作品を友達と一緒に楽しみながら見るよい時間となります。この期間は、保護者の方の見学も可能です。自由研究の宿題で、お子さんと共に今年度の作品を何にしようかと悩まれた方もいらっしゃると思います。作品展をご覧いただくことで、どんな作品があるのか、上学年になるとどんな作品を作っているのかなど、これからのヒントも見付かるかもしれません。

◆期間：9月5日（月）～9月8日（木） 9：00～16：00

◆場所：体育館

《学年の窓》 2年生について

2年1組担任 小林 智哉

2年2組担任 新城 江里子

2年3組担任 江川 深

2年生は、様々なことに関心をもち楽しんで取り組みながら力をつけてきました。町探検では、ぼくの、わたしのお気に入りの場所を探しました。事前に聞いていた友達のお気に入りの場所を見つけると大喜びです。2学期に行う「もっともっと町たんけん」では、お店で働いている人の話を伺い、さらに地域のことに興味をもてるようにしていきます。国語の学習「あったらいいなこんなもの」では、あったらいいなと思う道具を考えて発表しました。書いたら何でも本物になる本物鉛筆、食べると大人になれる大人グミなど、発送豊かなものばかりです。ここを押すと、機能がオフになって…などと細かい設定までよく考えている子どもたちの姿に驚かされます。休み時間では、校庭や体育館で遊ぶ児童や、教室で読書や自由帳を使って遊ぶ児童などそれぞれの楽しみ方を見つけて過ごしています。2学期も複数の大人目で見守り、子供たちが安心安全に活動できるよう支援していきます。



ESCの学習について

EST 箕輪 由美子

現在、9か国から22名の児童がESC(English Support Course)で学んでいます。ESCの児童は、算数と国語の時間に別室でEST(English Support Teacher)と一緒に学習し、その他の教科は担任や専科の先生の授業を必要に応じてESTが通訳・翻訳をしながら教室でクラスメイトと一緒に学んでいます。

算数では、英訳された教科書を使い、日本の学習指導要領に従って学習します。国語の時間には、英語と日本語を学習します。英語の授業では、英語力を保つとともに、英語圏における学年相応の英語力の習得を目指すために、日本の「国語」のような内容を学習します。日本語の授業では、ひらがなの読み書きや挨拶から学習をスタートし、学校生活や日常生活に必要な語彙や表現を学びます。また、それぞれの日本語レベルに応じて自分の考えや意見を述べるなどの「話す・書く」の練習や、話や本などから必要な情報を得るための「聞く・読む」の学習や練習も行っています。

本校は、これからのグローバル社会を生き抜くために必要な心や態度を誰でも養うことができる国際理解教育に恵まれた環境であります。全ての児童が、自分自身や自国の文化に誇りをもち、そして他者や異なる文化を理解し、受け入れ、互いに認め合うことができるようになって欲しいと願っています。

